



# 中世と近世をつなぐ京極氏

～京極氏遺跡発掘調査のはじまりとこれから～



写真左上 京極氏遺跡発掘調査状況、右上 『上平寺城絵図』(部分)  
写真左下 八講師城跡赤色立体図、写真右下 弥高寺跡発掘調査状況

2025

3. 1 (土) ～ 4. 13 (日)

会 場／米原市伊吹山文化資料館

開館時間／9:00～17:00

※入館は16:30まで

休 館 日／月曜日

休日の翌日(3/21休館)

入 館 料／一般200円

小中学生100円

【展示関連講演会】国史跡指定20周年記念講演会

日 時／3月20日(木・祝) 13:30～16:30

場 所／米原市役所 1階コンベンションホール  
(JR米原駅東口)

申込み不要  
参加費無料

I. 報告一遺跡保存活用のはじまりとこれから一

報告①「京極氏遺跡発掘調査の再検討」

米原市教育委員会 高橋 順之

報告②「調査速報 京極高広の巨大山城・八講師城」

米原市教育委員会 石田 雄士

II. 記念講演

「中世から近世まで存続した大名京極氏」

追手門学院大学 西島 太郎 教授



米原市伊吹山文化資料館  
〒521-0314 滋賀県米原市春照77 Tel/Fax0749-58-0252



# 中世と近世をつなぐ京極氏

～京極氏遺跡発掘調査のはじまりとこれから～

“我が国の戦国大名の在り方を知る上で貴重である〔文化庁指定解説〕”

北近江の守護・戦国大名である京極高氏が、15世紀末からの一族の内紛を永正2（1505）年に収め、伊吹山南山麓の上平寺に新たに城館を築いてから今年で520年を迎え、平成17（2005）年に「京極氏遺跡—京極氏城館跡・弥高寺跡—」が国史跡に指定されて20周年を記念して、企画展示と講演会を開催いたします。

指定当時の発掘調査の成果を振り返るとともに、現在、米原市でおこなっている「京極高氏の巨大山城・八講師城」の調査成果を紹介し、さらに遺跡を活用した地域活動や地域づくりの継続とこれからの考えるきっかけにしたいと思います。発掘調査の出土品を中心に、市指定文化財「上平寺城絵図」や京極氏に関連する古文書を展示します。

3月20日（木・祝）に開催する記念講演会では、調査担当者が遺跡保存・活用のはじまりとこれからの報告し、『シリーズ中世西国武士の研究7 佐々木京極氏』（戎光祥出版2024）の編著者・西島太郎氏から、鎌倉時代から江戸時代まで存続した稀有な大名家・京極氏の変遷と各時代の特徴的な事柄について講演をいただきます。ぜひ、企画展・講演会にお越しください。

上平寺城下発掘調査状況



土師皿(上平寺城下出土)



輸入陶磁器(京極氏館出土)

申込み不要  
参加費無料

## 【京極氏遺跡国史指定跡20周年記念講演会】

日時:令和7年3月20日(木・祝) 13:30～16:30

場所:米原市役所1階コンベンションホール(下図参照)

主催:米原市教育委員会・米原市伊吹山文化資料館

内容:開会・あいさつ 13:30～13:40

I. 報告—遺跡保存活用のはじまりとこれから—

13:40～14:40(各30分)

報告①「京極氏遺跡発掘調査の再検討」

米原市教育委員会 高橋 順之

報告②「調査速報 京極高氏の巨大山城・八講師城」

米原市教育委員会 石田 雄士

II. 記念講演 14:50～16:20

「中世から近世まで存続した大名京極氏」

追手門学院大学 西島 太郎 教授

## 【西島 太郎 氏 プロフィール】

1970年生まれ。名古屋大学大学院文学研究科博士課程(後期課程)修了。博士(歴史学)。現在、追手門学院大学文学部教授。主な著書に、『京極忠高の出雲・松江』(松江市教育委員会)『松江藩の基礎的研究—城下町の形成と京極氏・松平氏—』(岩田書院)『室町幕府將軍直臣と格式』(八木書店)『シリーズ中世西国武士の研究7 佐々木京極氏』(戎光祥出版)など

## 【主な展示品】

- 「上平寺城絵図」(米原市指定文化財・米原市所蔵)
- 上平寺区有文書「木下秀吉書状」他(上平寺自治会所蔵)
- 京極氏館跡・家臣屋敷跡・城下跡・弥高寺跡・八講師城跡発掘調査出土遺物等(米原市教育委員会所蔵)
- 能仁寺遺跡・勝楽寺遺跡発掘調査出土遺物(滋賀県所蔵)

## 【企画展示会場／伊吹山文化資料館】



## 【伊吹山文化資料館／交通案内】

JR・バス:東海道線近江長岡駅下車 湖国バス「伊吹登山口」行きで「ジョイいぶき」下車、徒歩8分

車:名神高速米原・関ヶ原、北陸道長浜各IC から約15分

